

令和元年版 県民活動白書（案）について

山口県県民活動促進条例第14条（年次報告）の規定により、本県の県民活動の促進の状況及び県民活動に関する施策について、毎年、県議会に報告し、公表するものであり、その概要等は次のとおり。

I 今年度のポイント

- ・白書の作成に当たり県民活動の現状と課題を把握するため、毎年度実施しているアンケート調査等の結果と、県、市町、関係団体の取組をとりまとめて掲載
- ・新規会員の獲得が困難な状況に鑑み、新たな調査項目として、団体会員数の増減や新規会員の獲得の手段等を追加し、その結果を掲載

II 構成

第1部 県民活動の現状と課題

- ・「県民活動への参加状況」をはじめ、「県民活動団体の活動状況」や「県民活動支援拠点（機関）の状況」、「NPO法人の認証・認定状況」について、調査データを分析して掲載

第2部 平成30年度における県民活動関連施策（実績）

- ・県、山口きらめき財団及び県民活動支援センターの平成30年度県民活動関連施策の実績について、事業の概要をわかりやすく一覧にまとめ、主な事業については抜粋して掲載

第3部 令和元年度における県民活動関連施策（計画）

- ・県、山口きらめき財団及び県民活動支援センターの令和元年度県民活動関連施策の計画について、第2部と同様に掲載

第4部 市町における取組

- ・市町における条例・計画の状況や県民活動の概況・取組方針等について掲載

（参考）県民活動に関するあゆみ掲載

Ⅲ 各部の概要

第1部 県民活動の現状と課題

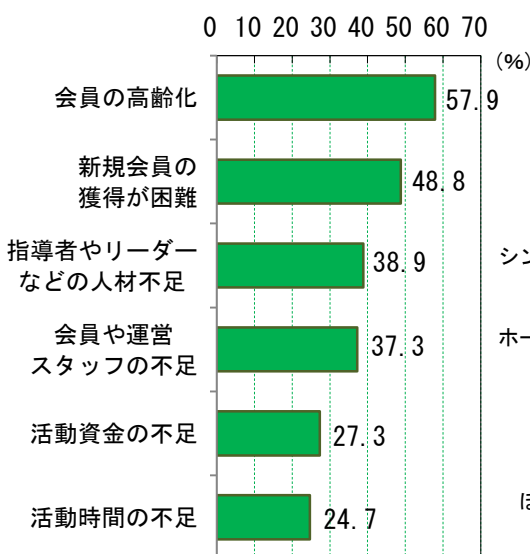
- NPO法人数は、平成30年度の設立認証等が10法人である一方、14法人の解散により、430法人（対前年度比4法人減）となり、減少している。
- 県民活動団体数は、2,374団体（対前年度比60団体増）であり、着実に増加している。

【県民活動団体数の推移】

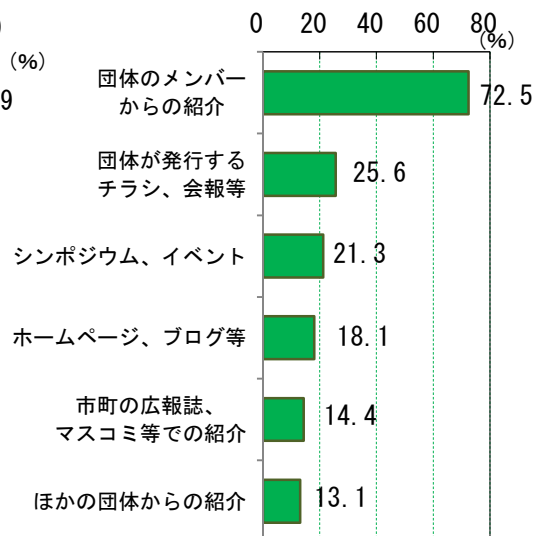
区 分	H26	H27	H28	H29	H30
NPO法人数	427	430	431	434	430
県民活動団体数	2,071	2,196	2,252	2,314	2,374

- 団体が抱える問題は、「会員の高齢化」が最も多く、次いで「新規会員の獲得困難」、「指導者やリーダーなどの人材不足」など人材に関するものが上位を占めている。
- 新規会員の獲得により会員増があった団体は2割弱にとどまっている。また、獲得の手段は、「団体のメンバーからの紹介」が7割超と最も多く、次いで「団体が発行しているチラシ等」となっており、効果的な獲得の手段が求められる。
- やまぐち社会貢献活動支援ネット（あいかさねっと）を利用したい団体は3割弱にとどまり、「利用予定なし」が約5割となっており、利用しやすい仕組みづくりが求められる。

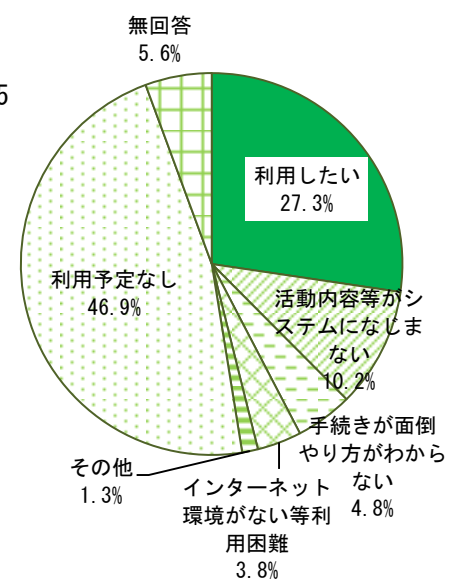
【活動団体が抱える問題】



【新規会員獲得の手段】



【あいかさねっと利用意向】



第2部 平成30年度における県民活動関連施策（実績）

基本方針1：県民活動への理解と参加の促進

新 県民活動推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ○「ボランティア・チャレンジ」の実施 4～8月を「ボラチャレ推進期間」として、重点的に取り組んだ。 [実績]366 イベント、参加者数 約12万人 ○若年層を対象としたボランティアイベントの開催 大学生と県民活動団体とをマッチングするイベントを実施した。 [実績]2会場、学生参加者数 65人
新 山口ゆめ花博開催事業	<ul style="list-style-type: none"> ○運営ボランティアによる県民参加を通じて、県民の知恵・技・エネルギーを結集し、「山口ゆめ花博」を開催した。 [実績]運営ボランティア参加者数 延べ4,383人

基本方針2：県民活動団体の自立・持続的発展に向けた環境づくり

ソーシャルビジネス創出支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ビジネスプランコンテストの開催や立上支援金の助成により、ソーシャルビジネスの事業化を支援した。 [実績]受賞者(5者)への立上支援金計381万円
-----------------	---

基本方針3：県民活動団体と多様な主体との協働の推進

新 県民活動推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ○「パートナーシップ」会議の実施 団体、企業等の多様な主体が一堂に会し、花博の成果を県民活動のさらなる活発化に繋げるための方策を話し合った。 [実績]H30.11.23開催、参加者数100名
拡 資源循環型社会形成推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ○県民総参加による3Rの取組を推進するため、未利用の食品を必要な施設や人に届けるフードバンク活動を行うNPO団体を支援した。 [実績]モデル事業の実施（山口市、萩市）

第3部 令和元年度における県民活動関連施策（計画）

基本方針1：県民活動への理解と参加の促進

新 県民ゆめはなアクション推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ○県民活動の活発化を図るため、花博のボランティア等への情報発信、マッチング等を実施
拡 県民活動推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ○若年層を対象としたボランティアイベントの開催 大学生向けボランティア体験説明会やイベントを実施 ○参加しやすい環境づくり あいかさねっとの改修及び「やまぐち健幸アプリ」との連携

基本方針2：県民活動団体の自立・持続的発展に向けた環境づくり

ソーシャルビジネス創出支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ビジネスプランコンテストの開催や立上支援金の助成により、ソーシャルビジネスの事業化を支援
-----------------	---

基本方針3：県民活動団体と多様な主体との協働の推進

拡 県民活動推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ○県民活動団体の財政の基盤強化と協働の推進 企業と団体が参加した交流会の開催など、企業の人材や知識を団体の活動に活かすための環境づくりに取り組む
新 フードバンク活動促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ○食品ロス削減のため、企業等と連携し、未利用食品をフードバンクに寄贈するシステムの構築を図り、活動の県全域への拡大・定着に向けた取組を促進

第4部 市町における取組

- 市町における県民活動に関する条例・計画の状況や活動概況、取組方針等
- 県・市民活動支援センター等の県民活動支援拠点（機関）の取組

令和元年度県民活動促進関連事業について

県民活動支援センターや山口きらめき財団等と連携し、県民活動の普及啓発や活動基盤の強化、協働の推進等の事業を実施し、県民活動の一層の活発化を図る。

1 拡県民活動推進事業（予算額：8,500千円）

① ボランティア・チャレンジの実施

○「ボランティア・チャレンジ」の実施

全県で住民や団体、企業等が様々なボランティア活動に取り組むとともに、その活動風景を写真に収めたボラチャレ写真展を開催(10月～11月)

○若年層を対象としたボランティアイベントの開催

大学生を中心とした若年層とボランティア団体が一堂に会するボランティアのマッチングイベント『ボランティア体験説明会』を企画

○県民活動団体への定着を目指した参加体験型ボランティアイベントの開催

② パートナーシップ会議の開催

○「パートナーシップ会議」の実施

県民活動を担う多様な主体が、各地域での活動の課題等を検証・共有し、新たな実践につながる仕組みを構築

○県民活動団体の人材養成研修の実施

③ 新参加しやすい環境づくり

○あいかさねっと（やまぐち社会貢献活動支援ネット）のシステム改修等による環境整備
「あいかさねっと」と「やまぐち健幸アプリ」の連携等、ボランティア活動のきっかけづくり

④ 新県民活動団体の財政の基盤強化と協働の推進

○団体の財政基盤強化に向けた、資金調達手法に関するセミナー等の開催

○企業の人材や知識を団体の活動に活かすための交流会等の実施

2 ソーシャルビジネス創出支援事業（予算額：12,600千円）

① モデル事業の構築

ソーシャルビジネスの全県への普及のため、ビジネスプランコンテスト（山口県ぶちええソーシャルビジネスプランコンテスト）を開催し、モデル事業を構築する。

・ビジネスプランコンテストコンテストの開催

【開催日】8月31日（土）

【開催場所】防長青年館（パルトピアやまぐち）

・立ち上げ支援金の助成（コンテスト受賞者5者）

【支援金】グランプリ 150万円（1）、準グランプリ 100万円（2）、奨励賞 50万円（2）

【補助率】1/2以内

・受賞者に対する専門家派遣による伴走支援

② 専門家による相談体制の整備

専門家（中小企業診断士、社会保険労務士等）派遣の実施、巡回相談会の開催

③ 創業希望者の掘り起こし、ノウハウの習得支援

交流会や支援セミナーの開催

3 **新** 県民ゆめはなアクション推進事業（予算額：7,500千円） ※令和元年6月補正事業
 山口ゆめ花博を契機とした県民活動の活発化を図るため、花博のボランティア等への情報発信や活動の場の提供、マッチング等を行い、継続的な活動につなげるとともに、ボランティアの「輪」の拡大へ向けた全県的な取組を展開する。

① ゆめはなアクション参加者の活動支援の仕組みづくり

山口ゆめ花博のボランティア等への情報発信や意見交換会の開催、コーディネーターの配置によるマッチング支援等の実施

② ゆめはなアクション参加者と一体となった啓発活動の推進

重点地域や県内大学・高校への出前講座の実施

○「ゆめはなアクション参加者」の内訳

ゆめアクション（イベント企画・実践）参加団体で、継続登録した団体	50団体
はなアクション（ボランティア）参加者で、継続登録した者	550名

○「ゆめはなアクション参加者」のネーミング

県民活動アンバサダー （けんかつアンバサダー）	県民活動参加への機運醸成の高まりを定着させ、更にレベルアップしていく実践者であり、また広く拡散させていく広報大使のイメージ
----------------------------	---

○県民活動アンバサダーの今後の予定

時 期	内 容
8～9月	<ul style="list-style-type: none"> ○「ゆめはなマルシェ」「県民活動フェスタ」のボランティア募集等を開始（8/16） ○情報・意見交換会の開催 ⇒今後の活動等についての説明 （活動マッチング、情報発信（PR）、新たなグループ結成など） ○ボランティア活動マッチングの開始 ⇒活動希望調査を行いニーズに合ったボランティア活動の情報提供やマッチング支援 ○SNS及び情報紙によるPRの開始（～3月） ⇒活動の様子、活動募集情報などを随時掲載
10月	<ul style="list-style-type: none"> ○「ゆめはなマルシェ」へのボランティア参加 ○「県民活動フェスタ」との連携 ○出前講座等啓発活動の開始（～3月）
R2. 2月	○大交流会（2箇所）⇒活動事例発表・表彰、意見交換 等

4 県民活動支援センター管理運営事業（予算額：25,459千円）

[事業内容] ・県民活動に関する相談・助言、情報の収集・提供、研修、交流促進等
・多様な主体との協働推進のためのコーディネート
[指定管理者] NPO法人やまぐち県民ネット21

5 やまぐち県民活動促進実行委員会事業（事業費：1,500千円）

県、県民活動支援センター及び山口きらめき財団で構成する実行委員会が実施

① 県民活動促進キャンペーンの実施

県民活動促進期間（10月1日～11月30日）を中心に、県民活動の拡がりと発展を目的とするキャンペーンを実施する。

② 県民活動フェスタの開催

県民活動への参加促進及び県民活動の活性化を図るイベントを開催

[開催日] 10月19日（土）

[開催場所] 徳山駅前賑わい交流施設内

[実施主体] 山口県、公益財団法人山口きらめき財団、やまぐち県民活動支援センター

③ チャレンジやまぐち！地域貢献賞の授与

特に優れた活動を行う県民活動団体・事業者を顕彰し、その活動を広く紹介

[表彰時期] 10月19日（土） ※『県民活動フェスタ』内で実施

[表彰団体] 5団体程度

テーマ	「協働を進めるための新たな指針」について
	<p>1 趣旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県では、県民活動団体と事業者（企業）等との多様な主体との協働を進めるため、協働に当たってのポイントや手法（ノウハウ）を盛り込んだ新たな指針を策定することとしています。 ○ この指針では、実際の協働事例を参考に、協働の経緯や成功要因、課題等を分析し、「協働の具体的な進め方」として整理し、お示しする予定です。 ○ 県民活動団体と事業者（企業）等との協働に当たって、きっかけづくりから協働の取組が軌道に乗るまでの間における課題や求められる取組等についての御意見を伺います。 <p>2 意見交換のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県民活動団体と事業者（企業）等との出会い（協働のきっかけづくり）について ○ 協働を進める上での課題（協働相手の選定、役割分担、関係者調整等）・解決策について ○ 行政や中間支援組織の役割・支援策について ○ 地域における参考事例について

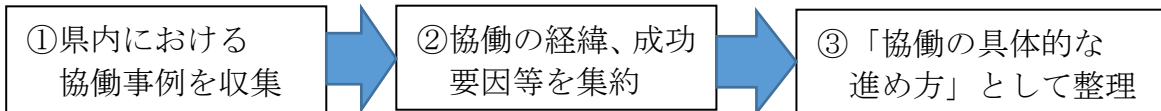
「協働を進めるための新たな指針」について（参考）

1 概要

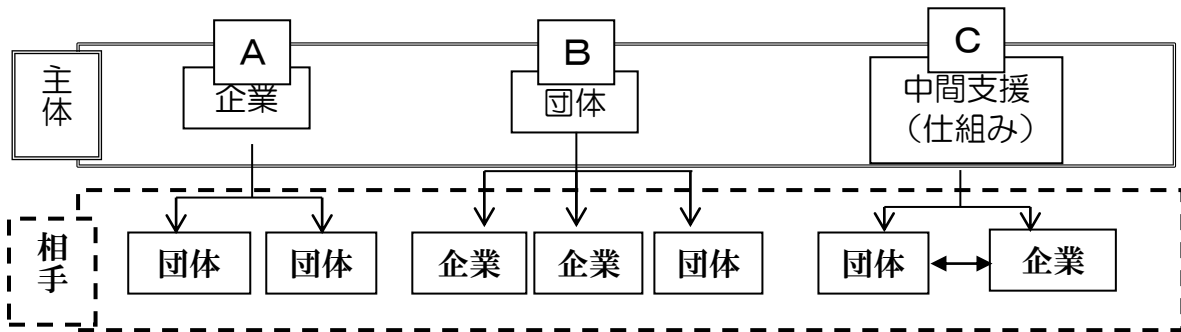
県民活動団体と行政、事業者（企業）など多様な主体との協働を進めるため、**新たな指針を策定**する。

2 作成手法等

- 各市民活動支援センターを中心に協働事例を収集（地域バランスも考慮）
- 協働の取組主体（企業、団体等）を訪問し、聞き取り方式により調査



- 協働に取り組む主体（キーパーソン）に着目し、それぞれの取組を紹介する。



（参考）事例紹介のイメージ（A4×2ページでの見開き）

<p>企業×団体 分野：子育て</p> <p>寄附付き商品の販売を通じた子育て支援の実施 (企業名) × (団体名)</p> <p>1 協働の概要</p> <p>文章（リード文） 協働MAP</p> <p>2 インタビュー「キーパーソンに聞く」</p> <p>○きっかけ 人物写真</p> <p>○協働（支援）に対する思い</p>	<p>3 協働の具体的な内容</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>写真1 写真2</p> <p>4 協働の成果・実績</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>5 参考情報</p> <p>(企業名) 住所、業種、規模 CSR活動状況、受賞歴</p> <p>(団体名) 住所、分野、規模 活動状況、受賞歴</p> <p>(取材データ) 取材日、取材者、取材相手方等</p>
--	---

3 調査状況等

- 山口・防府、岩国地域について聞き取りを実施（裏面参照）
- 県内他地域については事例収集中 → 順次聞き取りを実施予定

番号	センター	協働区分	調査先	所在地	協働の内容
1	岩国	中間支援	岩国市社協由宇支部 株式会社ネストハウス 中倉あすなる会	岩国市	○企業と地域、社協が協働し、山間地集落の環境整備（伐採作業）や休耕地へのそば栽培などを実施。 ○平成29年12月に第1回そば祭りを開催するなど地域外との交流事業も実施。
2	防府	企業	澤田建設(株)	防府市	○富海海岸でのビーチサッカー大会の開催に尽力するとともに、海岸へのビーチサッカー場建設に協力
3		企業	防府商工会議所 株式会社オカモト 株式会社マエダ商事 【ユニクロ】	防府市	○防府天満宮七夕まつり実行委員会と協働 ○各企業が業務内容を活かした社会的貢献の取組を行っている。 (傘玉アート、オリジナルトートバックの作成等)
4		企業	株式会社丸久	防府市	○店舗で通常廃棄される食品の寄附、フードバンクポストの設置等、多くの社会貢献活動を実施
5	山口	企業	株式会社寿司やす	周南市	○寄附付き商品の販売（親族が集まる日の法要膳のうち15円を寄附） ○寄附は、ひきこもりの若者や障害者の社会参加を支援の財源に活用
6		団体	認定NPO法人 支えてねネットワーク	山口市	○瓜を育てて地域も育てる「うりうり募金プロジェクト」の実施
7		団体	認定NPO法人 こどもステーション 山口	山口市	○企業と連携した、寄附付き商品の販売による子どもと新しいメディアについての講演会の実施、啓発リーフレット「ちょっとまって！そのスマホの使い方」の作成
8		団体	NPO法人あっと	山口市	○企業と連携した、寄附付き商品による働くパパ・ママも子育て広場に参加できる「ほっとサロン西門前てとてと」の土曜開館

(調査の例)

瓜を育てて地域も育てる「うりうり募金プロジェクト」

団体×企業

分野：福祉

認定 NPO 法人支えてねっトワーク × 有限会社みかわ

1 協働の概要

- 農家や地元の人に作ってもらった白瓜を認定 NPO 法人支えてねっトワークに寄付。
- その白瓜を企業（白瓜の奈良漬けを製造）に販売して得た利益を NPO 法人の運営（ひきこもりの人と家族への支援）費用の一部として活用する。

2 インタビュー「キーパーソンに聞く」

<認定 NPO 法人支えてねっトワーク 理事長 上村早苗>

○ 研修会や創業塾等への参加がきっかけ。

- ・ さぼらんて（山口市市民活動支援センター）の研修会に参加
→ さぼらんての「支え人。」プロジェクトへ参加
- ・ 当該研修会の講師でもあった山口県共同募金会の久津摩さんから、その後、「岩国の企業が奈良漬け用の白瓜を欲しがっている」という話が持ち込まれる。

※ 別事業での企業（株山本工業）との取組も創業塾での名刺交換がきっかけ

寄附付き自動販売機の設置／ヤギ当番（除草作業中のヤギの管理）

○ 上手に企業に営業してくれる「プロボノ」が欲しい。

- ・ 募金箱一つ企業に持っていきだけでもハードルが高い。

3 協働の具体的な内容

各主体	成果
企業（有みかわ）	地元食材での製品作り（瀬祭の酒粕を活用した奈良漬）
支えてねネットワーク	「プロジェクト」の運営（種の提供、白瓜の出荷含む）
地域（農家、農家）	白瓜の生産
障害者施設	白瓜の生産（就労支援）

4 協働の具体的な成果

各主体	成果
企業（有みかわ）	不足する材料（白瓜）の確保
支えてねネットワーク	募金による財源確保、ひきこもりの方の就労体験
地域（農家、シニア）	耕作放棄地の活用、シニアの生きがい確保、社会貢献
障害者施設	障害者の就労支援

1 あいかさねっと概要

【運用開始】平成27年11月

【管理運営】やまぐち県民活動支援センター（指定管理者やまぐち県民ネット21）

【基本機能】会員は会員登録時に希望するボランティアの条件（地域・活動内容）を設定し、条件に合致したボランティア募集情報が発信されればボランティア・マッチングメールを受け取ることができる。

2 令和元年度システム改修による機能追加

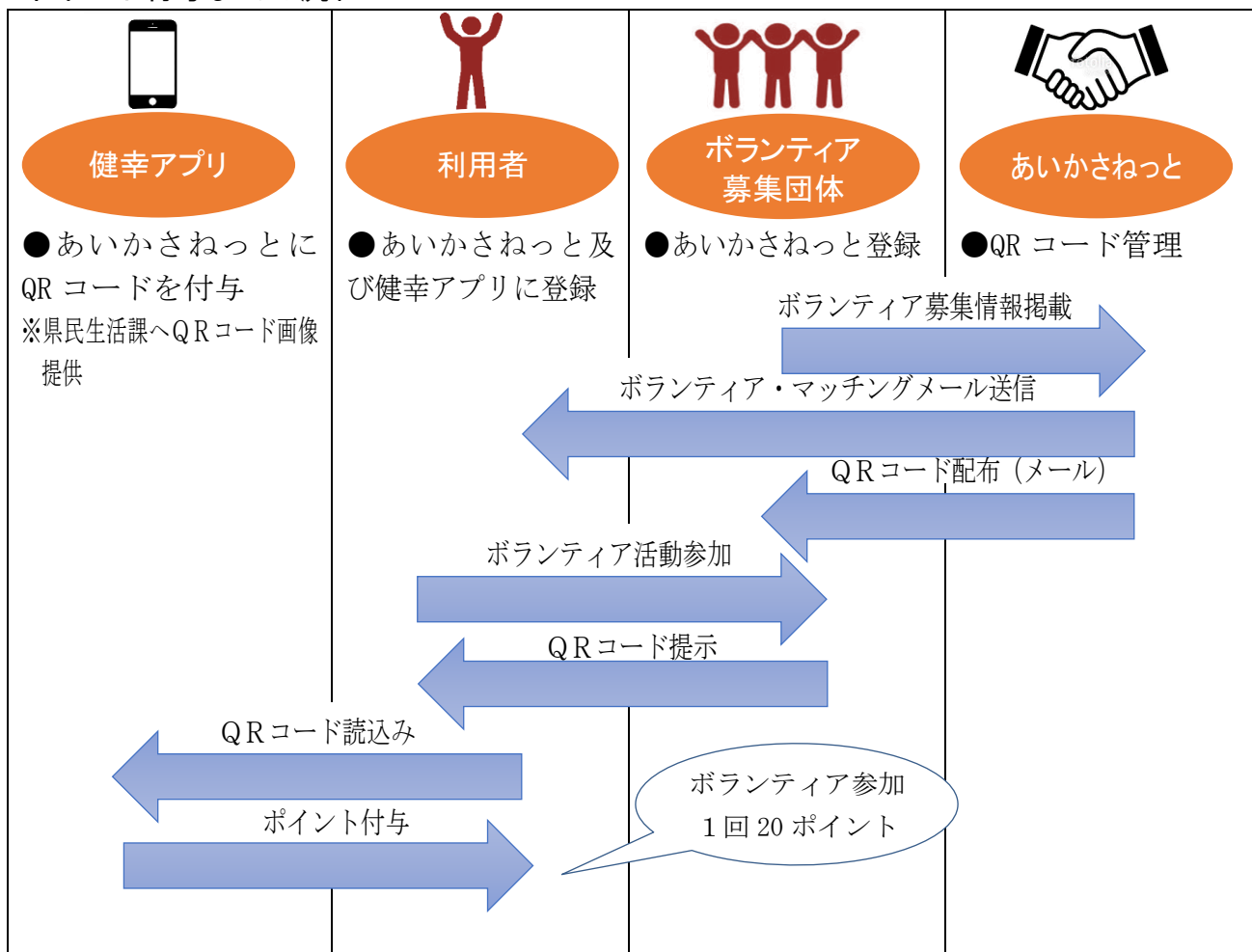
(1)「やまぐち健幸アプリ」との連携

今年4月1日より正式配信が開始された『やまぐち健幸アプリ』とあいかさねっとを連携させ、ボランティア活動参加のきっかけづくりを図る。

『やまぐち健幸アプリ』について

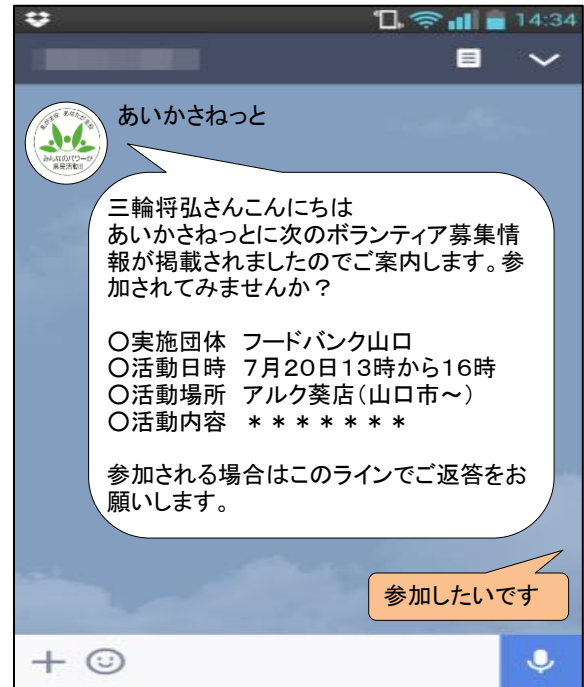
毎日歩いてアプリ内の山口健康ポイントが貯まる、県公式ウォーキングアプリ。ウォーキングや健（検）診の受診などの健康活動をして、ポイントを貯めることができ、500ポイント達成で「特典カード」を入手できる（山口県内の加盟店にて、画面内のカード画像を提示すると、特典を受けられる）。

ポイント付与までの流れ



(2) LINEメッセージの利用

SNS アプリ『LINE』のあいかさねっと公式アカウントを開設し、ボランティア情報の発信等を行うことであいかさねっとの利便性向上を図る。



(3) マッチングメールへのお返事機能の追加

募集されているボランティアに参加したい場合に、簡易に募集团体に参加意向を回答できる機能を追加する。

マッチングメールに専用のURLを掲載し、そのURLにアクセスすることで参加意向を回答できる仕組みとする。

従来の課題	お返事機能追加による改善
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア募集情報を受け取った人は自分でボランティア団体に電話やメール等により参加意向を伝える必要があった。 ・ボランティア募集团体はボランティア当日に何人のボランティアが参加するか不明瞭であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マッチングメールに記載されたURLにアクセスするだけでボランティアへ応募することができる。 ・ボランティア団体は参加の返事を受けることで、あいかさねっとのマッチングにより何人のボランティアが参加するか確認が容易になった。

3 広報に関する取り組み

(1) チラシ・ポスター・利用マニュアルの作成

利用団体や市民活動支援センター等に配布予定

(2) 県民活動関連イベントでのPR

県民活動フェスタ（10月19日周南市）にあいかさねっとPRブース出展予定

(3) 未利用団体への利用案内

あいかさねっと未登録の県民活動団体に対し、訪問又は電話で利用案内を実施